

## 令和6年倉敷市スポーツ章受章者（スポーツ振興功労者）

（氏名については敬称略）

No.	氏名	推薦団体	
1	やなぎだ としこ 柳田 敏子	公益財団法人 倉敷市スポーツ振興協会 卓球部	平成12年より約25年間にわたり、（公財）倉敷市スポーツ振興協会卓球部の会計監査として適切な管理を行い、その運営を支えてきた。 現在も現役選手として活動するとともに、大会等においては細やかな視点で全体に目を配り、円滑な運営を進めるなど、卓球競技の振興に大きく寄与している。
2	さわね しげあき 澤根 茂昌	公益財団法人 倉敷市スポーツ振興協会 卓球部	平成16年より約20年間に渡り、倉敷市玉島地区卓球大会の運営全体を取りまとめた。 また、（公財）倉敷市スポーツ振興協会卓球部の副部長・部長の要職を歴任し、ジュニアからシニアまでの幅広い世代の指導に貢献した。 卓球競技の普及・発展に尽力した功績は著しいものがある。
3	しげざね ひろこ 重實 裕子	公益財団法人 倉敷市スポーツ振興協会 ソフトテニス部	平成26年から（一財）倉敷市体育協会〔※〕ソフトテニス部で会計を担当し、加盟人数1千人、年間7千人が参加する30事業の事業収支の〇A化を積極的に進め、効率化を図ってきた。 また、同時に日本レディースソフトテニス連盟岡山県支部の理事として、倉敷市及び岡山県のソフトテニスの振興にも尽力しており、その功績は顕著なものがある。 現在は、（公財）倉敷市スポーツ振興協会ソフトテニス部の副部長を務めながらも現役プレイヤーとして全国レベルで活躍中である。

〔※〕現（公財）倉敷市スポーツ振興協会